



春日市地域活動指導員だより No.20

平成 16 年 9 月 15 日

春日市教育委員会 社会教育課

:575-4121 Fax:593-7380

E-mail:syakai@city.kasuga.fukuoka.jp

青少年育成市民のつどい



活動見学会はじまる！



9月4日(土)の春日北小学校「ドッジボール教室」を皮切りに、青少年育成市民のつどい「子どもを地域で育てよう！」活動見学会が始まりました。9月7日の見学会が台風で中止になった以外は、引き続き、最後の9月27日(月)「サンライズアンビシヤス広場～マジック教室」まで行います。飛び入り見学も大歓迎です！



見学者アンケートから～感想～

- ・ P T A 会長さんの質の高いリーダーシップと、この活動に対する保護者と先生の強い心意気が伝わってきました。感涙ものです。
- ・ 子どもたちの動きがキビキビとしていて、見ていて気持ち良かった。ルールもしっかりと守っている。

北小「ドッジボール教室」見学会

当日は「上級の日」(「一般の日」と隔週で実施)で上達したいという児童たちが9時30分頃から続々と36人ほど集まってきました。試合では、さすがに上級だけのことはあり、運動神経ばつぐんの久原PTA会長をねらって剛速球が飛び交っていました。毎週やっているの子どもたちには連帯感も芽生えているようです。



PTA会長の
牛若丸級の
ジャンプ！

* 『らいん』は、体験活動ボランティア活動支援センターのホームページ
⇒<http://www.u-zak.net/kasuga/seishonen> に載せています。自由に書き込める掲示板もありますので、ご意見、ご感想など、どしどしお寄せください！

中学校に来ませんか？

春日北中学校

中学校で開催している地域子ども教室の目的は2つ！

- ① 生徒と地域の方々とのふれあい
- ② 小学生の部活動体験

今回は、春日北中学校にお邪魔して参りました～！（*^^*）



吹奏楽部

「フ、フオー♪ フォ～♪」

北中学校では、小学生の部活動体験も兼ね、地域子ども教室を開催しています。まずは、吹奏楽部の練習を訪問！音楽室から聴こえてきたのは、小学生のクラリネットの音色でした。

体験に来た小学生は、クラリネット（木管楽器）、トランペット（金管楽器）、パーカッション（打楽器）の中からどれか一つを選び、ブラスバンド部員や顧問の先生からマンツーマンの指導を受けていました。

この体験は、楽器を演奏する楽しさを知り、中学校での部活動が、一体どんなものかを知る機会にもなっています。小学生にとってはまさに一石二鳥の取り組みではないでしょうか。中学生にとっても、小学生に教えることで技術アップはもちろんのこと、中学生としての自覚を促す効果も期待できます。初めて楽器を吹いた時の感動や志を思い出し、新鮮な気持ちで部活に臨めるという声も。また、こうした『異年齢間』の交流が、物事へ取り組む姿勢や礼儀作法、協調性、社会性の獲得など、様々な効果をもたらしているのではないのでしょうか。

卓球教室

思わず「専用の卓球場？」と見間違えるくらいズラ～と並んだ5台の卓球台・・・が、ここは多目的教室。

ここでは、地域の方を講師に招き、小中学生と地域住民の方々が一緒に汗を流していました。

よ～く目を凝らすと、参加者の中に親子を発見。球を打ち合い、親子でコミュニケーション&ストレス発散！なんと素敵な地域子ども教室でしょう（*^。^*）

参加している生徒さんたちは、みんなとても上手なので、「もちろん卓球部員でしょう！」と思っていたところ、話を聞くと、実は北中学校に卓球部はないらしいのです。この卓球教室には、いつも小学生3、4人の参加もあるそうで、これを機に「本格的な、学校・地域連携の卓球教室ができる・・・かも。」という淡い期待が芽生えました。

北中学校では、このほかにも、「読み聞かせと読書」「パソコン教室」「サッカー」「野球」「バレーボール」を開催していました。



～ちょっと一言～

北中

竹中教頭より

お知恵拝借



「学校が何かしようげな～」と「地域の人たちが学校で何かしようげな～」

この2つの意味の違い、わかりますか？私たちが関心を持つのはどちらの言葉でしょうか？

私たちが『学校が』という言葉に対して、無条件で「信頼」や「安心」を感じ取るのは否定できませんよね。

北中学校では教頭先生が事務局に入ること、地域住民と教職員とのパイプ役を担っています。確かに学校関係者に子ども教室のことが「きちんと浸透されている」ということが目に見えた方が、地域の方も気軽に学校へ足を運びやすいですね！

子ども遊び隊

～サマーキャンプ 玄海～



春日市子ども会リーダー研修会『子ども遊び隊』の子どもたち（春日市子ども会の4・5年生が対象）が、福岡県立少年自然の家『玄海の家』において8月8～10日、2泊3日のサマーキャンプを行いました。

（主催：春日市子ども会育成会連絡協議会）

青い空、青い海、白い雲、そして子どもたちの明るい笑顔！

春日市子ども会育成会連絡協議会では、昨年から、子ども会の小学生を対象に、『子ども遊び隊』という愛称で、子ども会リーダー研修会を行っています。今年度は、6月から12月まで、毎月1回、計6回の日程で行われる予定です。

夏休み中に行われたサマーキャンプでは『子ども遊び隊』の申込者97人（男子：46人 女子：51人）のうち、66人（男子28人 女子：38人）が参加しました。

キャンプの活動プログラムは、事前に子どもたち自身が考えました。初日だけでも海水浴、野外調理、キャンプファイヤー、花火大会と、かなりの過密スケジュールでしたが、悪戦苦闘で大幅に時間を越えながらも、なんとかプログラム通り(?)に終わることができました。実は、このキャンプの引率として参加した大人は、たったの5名。機会さえあれば、子どもたちは自分たちの力で活動を成功させることができるんですね。

主催者の一人、今村隆信先生（春日北小学校校長）いわく↓



子どもたちは失敗を繰り返しながら、時間をかけて物事を達成していきます。子どもたちの主体性に任せた活動をしたいと思うなら、周りの大人は時間的にも精神的にも余裕を持って見守ってあげましょう。

今回のキャンプの中で、子どもたちは『自分だけの活動』から『班での活動』そして、『参加しているみんなとの活動』へと、活動の輪を広げながら集団生活のルールを学び、たくましく成長したようです。

自分たちで考え、自分たちの行動に責任を持つ。そんな活動経験を通して子どもたちは、『生きる力』を身につけていくのではないのでしょうか。今後こうした活動が続いていけば、未来の春日市はたくましいリーダーがいっぱいの街になる・・・かも（^^）



きもだめしなんてへっつちやら

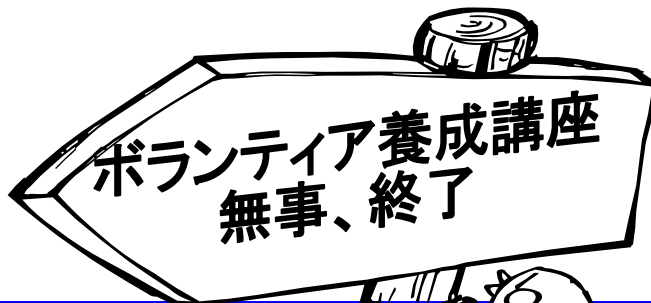
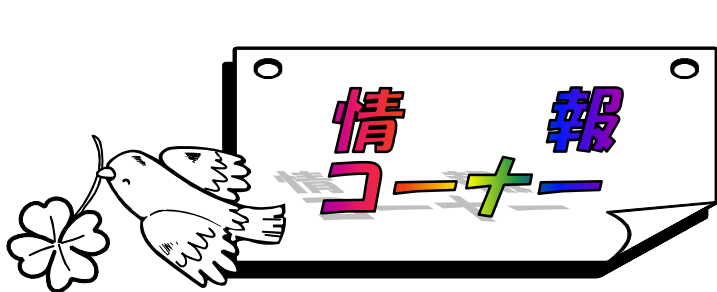


福岡県立少年自然の家「玄海の家」

玄海の家は、雄大な玄界灘、優雅なさつき松原という白浜青松の大自然に恵まれた宗像市玄海地区にあります。プライベートビーチや森林の散歩道があり、野外調理場やテントサイトは自然に近い作りになっています。

子どもたちに遊びや生活、自然体験、集団生活や野外活動など、豊かな体験の提供・支援を行い、『生きる力』を育む社会教育施設です。

玄海の家での体験は、自然の厳しさ、雄大さを感じさせ、子どもたちを、よりたくましく成長させてくれます。



「遊名人マスター」コース

6月16日から9月1日の全10回の講座でレクリエーションや工芸実習、親子工作教室の指導自習など、子どもたちの応援隊としての学習を重ねました。

8月6日、夏休み親子工作教室の指導光景から



9/1 受講生お一人お一人に修了証書が手渡され、喜びもひとしお・・・。パチパチ！

「キッズマスター」コース

7月2日から8月27日の全8回の講座で、ボランティアの意義、いろいろな遊び、レクリエーション、野外活動での危険などについて学び、野外調理体験や、子どもたちと遊ぶボランティア体験を行いました。



『冒険遊び場』でのボランティア体験↑二人とも、泥遊びにはまっています☆★



ボランティアの意義って???

キッズマスターも遊名人マスターもこれからの活躍が大いに期待されます！

